

「神楽門前町魅力アッププラン」(案)

I 目標

敦賀市神楽町 1 丁目商店街を、氣比神宮の参道、市民と観光客の交流の場、市民の憩いの場としての機能を有し敦賀市のシビックプライドを表現する商業交流エリアに再生できるよう、“和”、“水”、“灯り”、“歴史と文化”、“SDGs”をキーワードに、地元の商店街や経済界、市、県が連携・協力しながら魅力向上のためのプロジェクトをハード・ソフトの両面から展開する

II 施策の方向性

- 氣比神宮と神楽町 1 丁目商店街が連携し、住民生活に欠かせない商店街であることを大切にしながら、観光やハレの場としても賑わう参道を目指す
- 車中心の道路から、歩行者と自転車が共存し、大鳥居を目指して歩けるウォーカブルな参道を目指す
- 地区の象徴の氣比神宮の魅力向上や隣接エリアへの広がりを目指す

III 具体的方策

1 氣比神宮の参道としての魅力づくり

①氣比神宮の歴史的魅力を土産・名物開発と店・体験づくりに活かす

- ・女桃太郎のキャラクターを作り物語化、七祭神の物語化（漫画／英語バージョン等）
- ・氣比神宮、敦賀にまつわるエピソードを掘り起こして物語化、観光コンテンツ化

・渤海使と松原客館…古代外交
 ・南北朝時代の歴史検証 …後醍醐天皇の皇子を迎えて新田義貞とともに室町幕府と戦い敗北
 ・戦国時代の歴史検証 …織田信長の越前侵攻に際し、金ヶ崎・天筒山で朝倉氏とともに戦い敗北
 ・名換えの神事
 ・空海の七日七夜の大業（土公さん）
 ・真言宗（金前寺）との繋がり
 ・日本最古の神宮寺（角鹿会）
 ・日本百名月
 ・遊行上人お砂持ちの故事

など

・土産・名物開発

・北前船 48 寄港地の交流商品の販売
 ・昆布だしのうどん・そば・おでん・団子・スープなど長命水パワーにまつわる名物の開発
 ・「御食国」をキーワードとした土産品（しゃもじ、箸など）の開発、神楽ブランドの発信

など

- ・松尾芭蕉の敦賀入りにちなんだ俳句塾の開設など体験の場づくり

2 市民と観光客の交流の場づくり

①催事の強化

- ・氣比神宮催事（総参祭、寅神事等）に観光客や市外の住民が参加できる仕掛けづくり（日本人、外国人向け） ※参考事例：阿波踊り、郡上踊りなど

②音楽・芸術の創作発表の場

- ・気軽に参加できるアトリエ・工房を設置
- ・四季折々の雅楽や祭り太鼓などの音楽を日常的に発信

③住民とともに楽しむ朝時間（朔日参り、15日参りから段階的に実施）

- ・ホテルとタイアップして、市内宿泊者に氣比神宮や寺院の早朝参拝を推奨・特別な参拝記念提供
- ・座禅、写経、写仏、朝のお勤め、散歩、ヨガ、ストレッチ体操などを観光客と市民と一緒に楽しめる日常イベントとして開催
- ・参加者に喫茶店やカフェで朝茶漬けや和朝食の提供
- ・氣比神宮交差点での朝市の実施

3 市民の憩いの場づくり

①アートあふれる遊具のような座り場を配置し、子ども・若者からお年寄りまでが自然に交流できる場

- ・和モダンな雰囲気形成
- ・百名月の月見場として活用
- ・井戸水の噴水や手押しポンプなど、みんなが使える水場を整備
- ・給水スポット等を設置し、ペットボトル等の使い捨て容器を使わないSDGsへの取り組みを推進

②みんなでゆるスポ

- ・蹴鞠やスポーツチャレンジなどを、気軽に体験できる機会を増やす

③語らいの広場

- ・敦賀の歴史・文化・産業を楽しめるスペースを設け、囲碁、将棋をはじめ、氣比史学会、芭蕉の俳句塾、北前船の寄港地交流、七祭神研究などコミュニティを形成

4 施設整備

【店舗等】

①店舗等のリノベーション

- ・空き店舗、空きビルなどのリノベーションにより、老舗の伝統と未来への革新が共存する商店へ再生
- ・氣比神宮と商店街が連携したイベントの開催スペース、アクティビティ空間づくり

②集合商業施設の整備

- ・県内外から出店者（兼業・副業も可）を募集し、シェア店舗を運営

③店舗兼住宅の一括分離経営

- ・神楽町1丁目商店街の中で住宅の一部が店舗になっているものについて、店舗部分のみを一括して運営委託し、全国から小規模事業経営者を公募し運営

④観光客向けスペースの設置

- ・既存の一般店舗内に観光客向けの販売・体験スペースを設置し、直営か委託で運営

【神楽通りなど公共空間】

⑤アートあふれる遊具のような座り場の配置

- ・日常的に子どもからお年寄りまでの集まりをつくるために、アートあふれる遊具のような座り場を配置

⑥語らい広場の整備

- ・市民と観光客がゆっくりとくつろげる和の空間・座り場を整備（テイクアウトにも対応）

⑦神楽町 1 丁目商店街店舗の営業エリア拡大

- ・歩道の拡幅スペースをテラスとして活用し、利用客増を図る

⑧参道としての道路空間の整備

- ・歩行者空間を拡大し、歩行者と自動車が共存する遊歩道へと再整備
- ・様々なアクティビティを受け容れる幅広い歩道を整備
- ・既存アーケードの木製天井化、行燈照明、暖簾など、参道商店街らしい環境へと改修

⑨モニュメント

1) 長い年月をかけて観光客が中心になって完成させる、敦賀ゆかりのモニュメント

- ・氣比の杜復活に向けて、木の苗を植樹
- ・寄付金を募集して、街灯を兼ねた背の低い灯籠を設置し、寄付者を刻印

2) 敦賀市のシンボルとしてのモニュメント

- ・西側に宵山、神輿の展示
- ・西方寺跡地に参道商店街の起点となるシンボルの塔、お宮（祠）、賽銭箱等を設置し、西方寺跡地から氣比神宮、善妙寺内の烏居を参拝するルートを形成
- ・クリアランス素材を使用した神楽マーク看板の設置

5 企業等との連携

①給水スポット等の設置

- ・エコに積極的な商店街として「Refill（リフィル）」活動を推進。企業とタイアップして、賛同した店舗内に給水スポット等を設置し、ペットボトル等を使わない環境の実現を宣言

②女桃太郎のキャラクターづくり

- ・企業と学生の協力を得て、女桃太郎をキャラクター化したものを、お土産や体験に活用
- ・A R 企業とタイアップし、拡張現実（A R）をスマホにて、商店街や各店舗でビジュアル化した女桃太郎を出現させ、土産商品の販売を促進

6 支援事業

①神楽町 1 丁目商店街共通歴史マニュアル

- ・敦賀に関する歴史・文化（氣比神宮、北前船、港等）を楽しく説明できるマニュアルを作成（学芸員監修し、関係者間で共有（漫画／英語バージョン等）
- ・各店舗で観光客を楽しませる案内ができるレベルの人材（神楽ソムリエ）を育成
- ・観光ボランティアを育成する教室を設置

②店舗等リノベーションには県・市が補助し金融機関が超低利融資する総合型の支援

③移住・事業承継・屋号承継など新たな住民や事業者を受け入れる仕組みづくり（相談体制の強化、初期費用の支援等）

④店舗兼住宅の一括分離経営の事業主体へ運営補助

7 周辺地区への拡大

- ① 神楽町 1 丁目商店街の西側に観光バスの乗降スペースの整備を検討
- ② 周辺のマイカーについて、商工会議所を建て直し立体駐車場との併設を検討
- ③ 裏通りの空地を利用した駐車場の整備を検討
- ④ 駅、氣比神宮、神楽町 1 丁目商店街、観光地等を周遊するバスルートの確保を検討
- ⑤ 氣比神宮隣の学校跡地の利用を検討
 - ・敦賀の歴史・文化を学べる氣比の杜の整備を検討
- ⑥ 蓬萊地区の倉庫について、バル、バー、ライブ会場への改造を検討
- ⑦ 地産地消型レストランの誘致を検討
- ⑧ 近隣寺院群への参道や路地裏環境の整備を検討
- ⑨ 迎賓館・松原客館の再生を検討

IV 神楽通りの整備イメージ

■ 参道として必要な事

1 アーケード

- ・アーケードを伊勢神宮のおはらい町の屋根に見立て和のイメージを強く出す為、軒裏、天井等を木製のイメージに変更

2 軒の下欄間の意匠の統一

- ・現在のアーケードの下のふさがっている看板に設置。和の建築の軒下の欄間を演出し商店街の統一感を出す

3 道路の雰囲気づくり

- ・石畳の歩道を活かし、2 車線車道はアスファルトではなく砂利風舗装とし、あわせて参道のイメージを強化する

4 各店舗の表示

- ・突き出し看板と同じく立て看板を出し、左右から見えるように
- ・暖簾の活用

5 街灯の統一

- ・歩道左右に街灯、行燈照明等を設置し参道の灯りとする
- ・夏は風鈴やドライミスト、冬は融雪装置など、多機能な柱を設置

■ 神楽町 1 丁目商店街から氣比神宮、さらに奥に広がる山への景色を創る

- ・山から氣比の土公、更に商店街へと景色をつなげるために、点在する庭を創り出す

■ 観光客と市民（親子など）の交流の場

- ・遊具、芝、菜園ドーム、水場、テーブル、ベンチなど観光客と街に住む親子・住民との交流と憩いの場に

「神楽門前町魅力アッププラン」 事業一覧

1 氣比神宮の参道としての魅力づくり

事業内容	実施時期		
	短期 (~R6)	中期 (~R8)	長期 (R9~)
《関係機関:敦賀市、商店街、敦賀観光協会》			
①氣比神宮の歴史的魅力を土産・名物開発と店・体験づくりに活かす			
女桃太郎のキャラクターを作り物語化、七祭神の物語化	物語化	キャラクター化	
氣比神宮、敦賀にまつわるエピソードを掘り起こして物語化、観光コンテンツ化 ・渤海使と松原客館 ・南北朝時代の歴史検証 ・戦国時代の歴史検証 ・名換えの神事 ・空海の七日七夜の大業 ・真言宗との繋がり ・日本最古の神宮寺 ・日本百名月 ・遊行上人お砂持ちの故事 など	物語化、観光コンテンツ化		
土産・名物開発 ・北前船48寄港地の交流商品の販売 ・昆布だしのうどん・そば・おでん・団子・ スープなど長命水パワーにまつわる名物の開発 ・「御食国」をキーワードとした土産品の開発、神楽ブランドの発信 など	土産品・名物開発		
松尾芭蕉の敦賀入りにちなんだ俳句塾の開設など体験の場づくり	体験の場づくり	(継続実施)	

2 市民と観光客の交流の場づくり

事業内容	実施時期		
	短期 (~R6)	中期 (~R8)	長期 (R9~)
《関係機関:敦賀市、商店街、敦賀観光協会、港都つるが、民間事業者》			
①催事の強化			
氣比神宮催事に観光客や市外の住民が参加できる仕掛けづくり	企画、実施	→	(継続実施)
②音楽・芸術の創作発表の場			
気軽に参加できるアトリエ・工房を設置			→
四季折々の雅楽や祭り太鼓などの音楽を日常的に発信		→	(継続実施)
③住民とともに楽しむ朝時間			
ホテルとタイアップして、市内宿泊者に氣比神宮や寺院の早朝参拝を推奨・特別な参拝記念提供	→	} (順次拡大)	
座禅、写経、写仏、朝のお勤め、散歩、ヨガ、ストレッチ体操などを観光客と市民と一緒に楽しめる日常イベントとして開催	→		
参加者に喫茶店やカフェで朝茶漬けや和朝食の提供	→		
氣比神宮交差点での朝市の実施	→		

3 市民の憩いの場づくり

事業内容	実施時期		
	短期 (~R6)	中期 (~R8)	長期 (R9~)
《関係機関:敦賀市、商店街、敦賀観光協会、港都つるが、民間事業者》			
①アートあふれる遊具のような座り場を配置し、子ども・若者からお年寄りまでが自然に交流できる場			
和モダンな雰囲気形成		→	
百名月の月見場として活用		→	
井戸水の噴水や手押しポンプなど、みんなが使える水場を整備		→	
給水スポット等を設置し、ペットボトル等の使い捨て容器を使わないSDGsへの取り組みを推進		→	(順次拡大)
②みんなでゆるスポ			
蹴鞠やスポーツチャレンジなどを、気軽に体験できる機会を増やす			→
③語らいの広場			
敦賀の歴史・文化・産業を楽しめるスペースを設け、囲碁、将棋をはじめ、氣比史学会、芭蕉の俳句塾、北前船の寄港地交流、七祭神研究などコミュニティを形成	企画、実施	→	(順次拡大)

4 施設整備

事業内容	実施時期		
	短期 (~R6)	中期 (~R8)	長期 (R9~)
《関係機関:敦賀市、商店街、敦賀観光協会、港都つるが、民間事業者、関係団体》			
【店舗等】			
①店舗等のリノベーション			
空き店舗、空きビルなどのリノベーションにより、老舗の伝統と未来への革新が共存する商店へ再生		→	
氣比神宮と商店街が連携したイベントの開催スペース、アクティビティ空間づくり		→	(継続実施)
②集合商業施設の整備			
県内外から出店者(兼業・副業も可)を募集し、シェア店舗を運営		→	
③店舗兼住宅の一括分離経営			
神楽町1丁目商店街の中で住宅の一部が店舗になっているものについて、店舗部分のみを一括して運営委託し、全国から小規模事業経営者を公募し運営		→	
④観光客向けスペースの設置			
既存の一般店舗内に観光客向けの販売・体験スペースを設置し、直営か委託で運営		→	(順次拡大)
【神楽通りなど公共空間】			
⑤アートあふれる遊具のような座り場の配置			
日常的に子どもからお年寄りまでの集まりをつくるために、アートあふれる遊具のような座り場を配置		→	
⑥語らい広場の整備			
市民と観光客がゆっくりとくつろげる和の空間・座り場を整備		→	
⑦神楽町1丁目商店街店舗の営業エリア拡大			
歩道の拡幅スペースをテラスとして活用し、利用客増を図る		→	
⑧参道としての道路空間の整備			
歩行者空間を拡大し、歩行者と自動車が共存する遊歩道へと再整備		→	
様々なアクティビティを受け容れる幅広い歩道を整備		→	
既存アーケードの木製天井化、行燈照明、暖簾など、参道商店街らしい環境へと改修		→	
⑨モニュメント			
1)長い年月をかけて観光客が中心になって完成させる、敦賀ゆかりのモニュメント			
氣比の杜復活に向けて、木の苗を植樹		→	
寄付金を募集して、街灯を兼ねた背の低い灯籠を設置し、寄付者名を刻印		→	
2)敦賀市のシンボルとしてのモニュメント			
西側に宵山、神輿の展示		→	
西方寺跡地に参道商店街の起点となるシンボルの塔、お宮(祠)、賽銭箱等を設置し、西方寺跡地から氣比神宮、善妙寺内の鳥居を参拝するルートを形成		→	
クリアランス素材を使用した神楽マーク看板の設置	→		

5 企業等との連携

事業内容	実施時期		
	短期 (~R6)	中期 (~R8)	長期 (R9~)
《関係機関:敦賀市、商店街、敦賀観光協会》			
①給水スポット等の設置			
エコに積極的な商店街として「Refill(リフィル)」活動を推進。企業とタイアップして、賛同した店舗内に給水スポット等を設置し、ペットボトル等を使わない環境の実現を宣言	→	(順次拡大)	
②女桃太郎のキャラクターづくり			
企業と学生の協力を得て、女桃太郎をキャラクター化したものを、お土産や体験に活用		キャラクター化、活用	→
AR企業とタイアップし、拡張現実をスマホにて、商店街や各店舗でビジュアル化した女桃太郎を出現させ、土産商品の販売を促進		ビジュアル化、活用	→

6 支援事業

事業内容	実施時期		
	短期 (~R6)	中期 (~R8)	長期 (R9~)
《関係機関:敦賀市、福井県、商店街、敦賀観光協会、金融機関、事業承継・引継ぎ支援センター》			
①神楽町1丁目商店街共通歴史マニュアル			
敦賀に関する歴史・文化を楽しく説明できるマニュアルを作成し、関係者間で共有	→	※市内各商店街に展開	
各店舗で観光客を楽しませる案内ができるレベルの人材を育成	勉強会の開催	(継続実施)	
観光ボランティアを育成する教室を設置	→	(継続実施)	
②店舗等リノベーションには県・市が補助し金融機関が超低利融資する総合型の支援		→	
③移住・事業承継・屋号承継など新たな住民や事業者を受け入れる仕組みづくり(相談体制の強化、初期費用の支援等)		→	
④店舗兼住宅の一括分離経営の事業主体へ運営補助			→

7 周辺地区への拡大

事業内容	実施時期		
	短期 (~R6)	中期 (~R8)	長期 (R9~)
《関係機関:敦賀市、商店街、港都つるが、敦賀商工会議所、民間事業者》			
①神楽町1丁目商店街の西側に観光バスの乗降スペースの整備を検討	検討	→	
②周辺のマイカーについて、商工会議所を建て直し立体駐車場との併設を検討	検討	→	
③裏通りの空地を利用した駐車場の整備を検討	検討	→	
④駅、氣比神宮、神楽町1丁目商店街、観光地等を周遊するバスルートの確保を検討		→	
⑤氣比神宮隣の学校跡地の利用を検討			
敦賀の歴史・文化を学べる氣比の杜の整備を検討	検討	→	→
⑥蓬萊地区の倉庫について、バル、バー、ライブ会場への改造を検討	検討	→	
⑦地産地消型レストランの誘致を検討	検討	→	
⑧近隣寺院群への参道や路地裏環境の整備を検討		検討	→
⑨迎賓館・松原客館の再生を検討			検討